

# H30年度 メンタルチームサポート事業

厚生委員会資料  
平成30年9月18日  
品川区保健所荏原保健センター

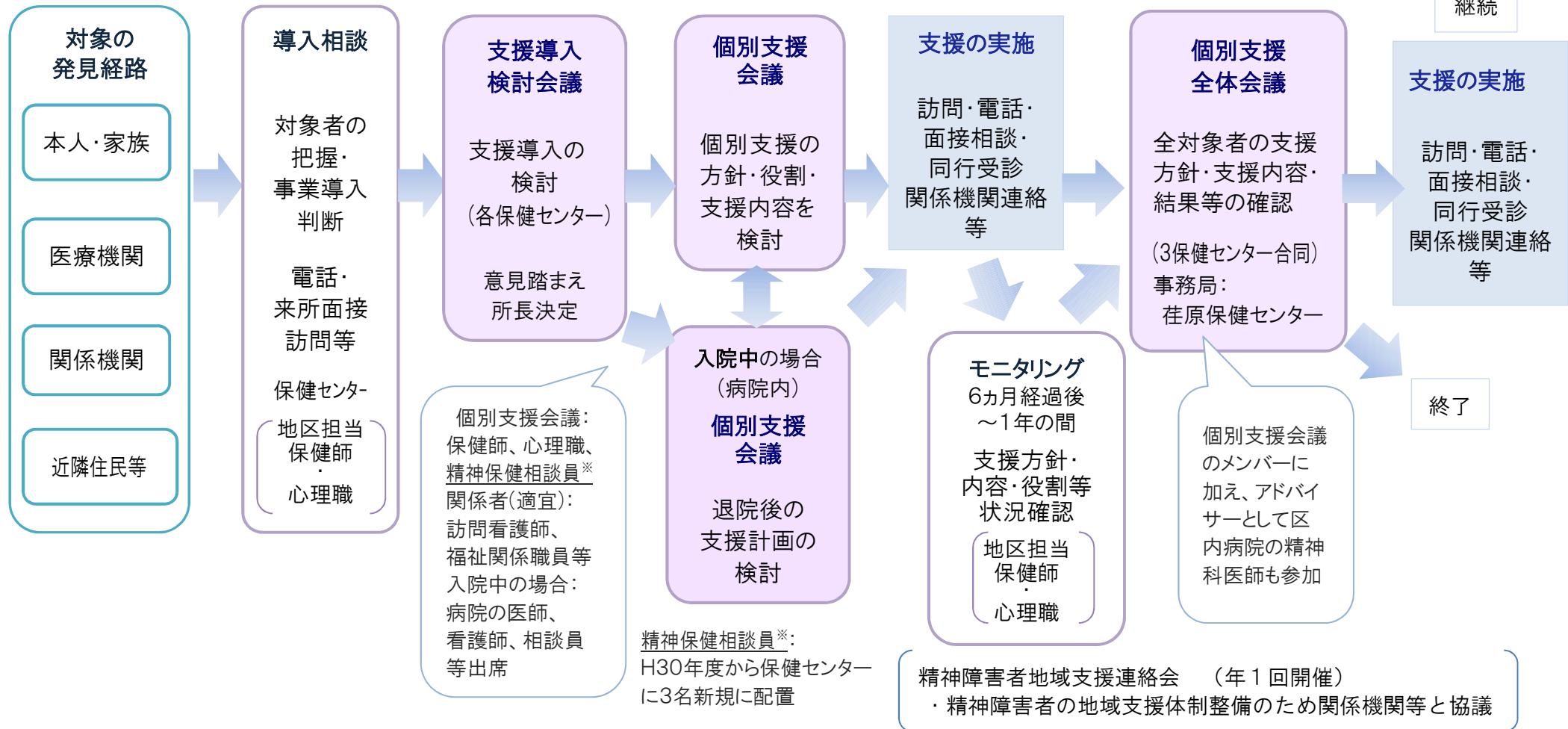
**事業目的** 病状不安定な精神疾患患者、措置入院者等に対し、医療機関・福祉関係機関等と連携し、医療の継続支援、病状安定への支援を多職種チームで包括的に行うことで、病状悪化と再発を防止し、安定して地域で暮らし続けられるよう支援する。

**対象**

- ・措置入院等で退院後、地域生活に一定程度の支援が必要な者
- ・多問題家族で病状変化の可能性があり、見守りが必要な者
- ・過去に精神科治療中断があり、再発防止の支援が必要な者
- ・相談・医療へ繋げるために期間を要する者、等

多職種チーム支援

## ＜個別支援の流れ＞



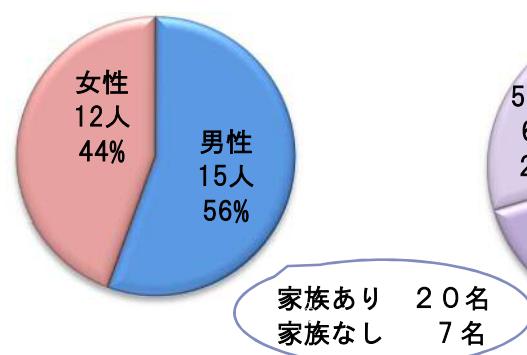
## メンタルチームサポート事業の状況について (H30年4月~6月導入者 27人)

### 1) 発見経路と導入者の状況

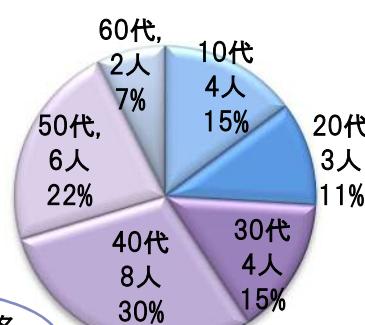
【対象の発見経路】

発見経路	件 数	割 合
家族	7	26%
病院	7	26%
関係機関	7	26%
本人	3	11%
近隣	3	11%
計	27	100%

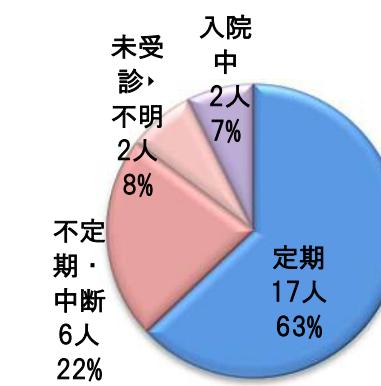
【男女別】



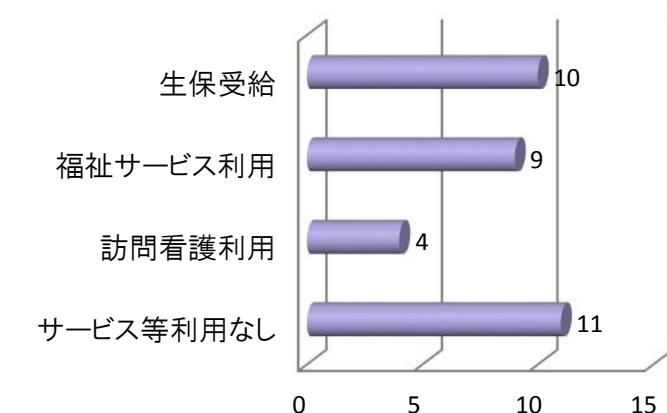
【年齢別】



【導入時の受診状況】



【導入時の福祉制度等の状況】



### 2) 導入者の診断名

【診断名と分類】

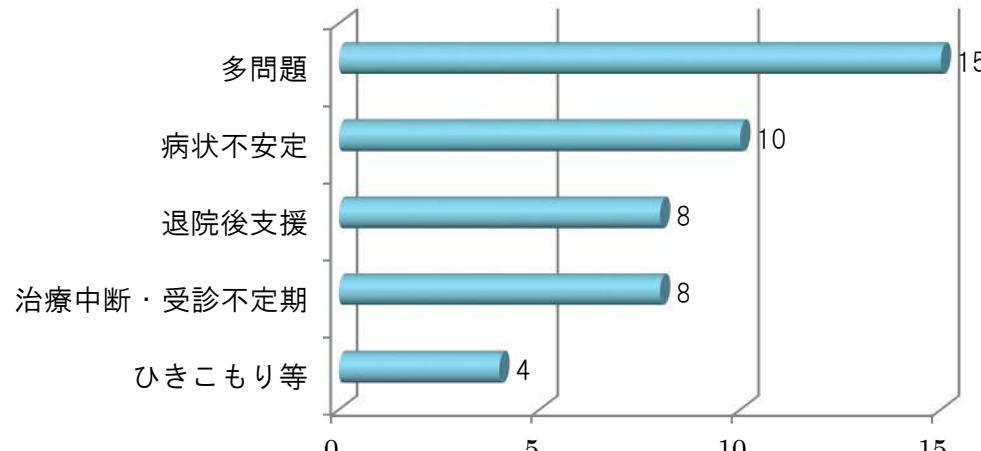
(延数)

分 類	診 斷 名	件 数
気分障害	統合失調症	12
	双極性障害	2
	うつ病	4
	情緒不安定障害	1
神経症性障害	パニック障害	2
	不安神経症	1
	強迫性障害	1
	適応障害	1
	解離性障害	1
心理的発達の障害	発達障害	3
精神遲滞	軽度知的	3
人格および行動の障害	ひきこもり	4
	人格障害	2
	性同一障害	1
精神作用物質使用における障害	覚せい剤後遺症	2
	アルコール依存	2
	ウェルニッケ脳症	1
計		42

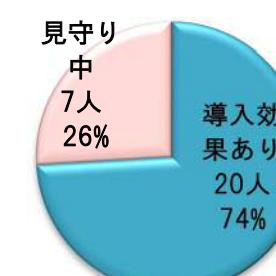
### 3) 導入目的と導入後の変化

【導入目的】

(延数)



【導入後の変化】



導入後の変化	延べ件数
治療安定	14
支援者間連携強化	11
関係づくり	9
病状悪化の気づき	5
病状安定	4

#### 【治療の安定】

治療中断の傾向から同行受診により定期的な受診となった

#### 【支援者間の連携強化】

関係機関の連携が強化され、支援体制が構築できた(できつつある)

#### 【関係づくり】

頻度の高い支援により支援者と本人の関係づくりができた(できつつある)  
・訪問・面接・電話等での本人・家族支援

#### 【病状悪化の気づき】

悪化を早期に発見でき、医療につなげられた  
・訪問・面接・電話等で支援

#### 【病状安定】

訪問・面接・福祉サービス導入等で支援の頻度が高くなり、病状が安定の傾向にある

\* 多問題内訳（子育て困難5件・家族関係不良4件・家族が高齢、病気7件等で家族支援も必要）  
 \* 病状不安定者疾患（統合失調症3名・気分障害4名・発達障害等で病名も複数ある場合が多い）  
 \* 退院支援の必要な者（単身者4名・家族内に子ども・高齢者がいる・家族問題がある等）  
 \* 治療中断や受診不定期の者は、複数の診断名についていて病態が複雑で対応が難しい  
 \* ひきこもり状態の方は、未受診者2名、家族受診のみ。医療につながることが難しい傾向あり